小学校に食農教育誌贈る

JAにしみの 8市町に計2150冊

石田仁市長に目録を手渡した玉井寛之組合長（左）＝大垣市役所

西美濃農業協同組合（JAにしみの）は、子ども向け食農教育雑誌「ちゃぐりん」10月号の岐阜県版を、管内2市6町の小学校と特別支援学校小学部の3年生全員に贈呈する。18日には大垣市役所で贈呈式があり、玉井寛之組合長が石田仁市長に目録を手渡した。

県版は県内農業の現状や農産物の魅力を知ってもらおうと、県農業協同組合中央会（JA岐阜中央会）と県内7JAなどが作成した。冒頭の8ページで「岐阜の食と農をまもりたい」など県内農業をテーマに特集し、米ができるまで・食卓に届くまでや、田んぼのさまざまな働きも紹介している。JAにしみのは8市町を通じ計約2150冊を贈る。

うち大垣市には1288冊を贈呈。式で玉井組合長は「農業を守ることは命を守ること。農業の活性化が必要で、子どもが理解を深め、後継者が出てきてくれたら」とあいさつ。石田市長は贈呈に感謝し、「農業の大切さを学校でもしっかりと伝えたい」と話した。（小森直人）

無断複製・転載を禁じます